

1 基本情報																					
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要																			
横網町公園		(指定管理者名) 公益財団法人東京都慰霊協会 (団体の概要) 設立年月日 昭和22年3月29日																			
指定期間		事業 (1) 慰霊法要の執行と、慰霊堂及び公園施設の管理運営 (2) 震災・戦災の教訓の継承と防災意識の普及啓発																			
令和3年4月1日から8年3月31日まで5年間																					
2 施設名		3 収支（単位：千円）																			
都立横網町公園		項目	金額	公園別支出額																	
		収入 計	69,977,000	すべて、横網町公園																	
		内 指定管理料	69,977,000																		
		賦 利用料金	0																		
		支出 計	69,799,588																		
収支差	177,412																				
4 管理運営の概要																					
<p>①横網町公園の存在意義を高めるため、「慰霊と伝承の公園」としての機能を追求した。きめ細かな植栽管理を基本に、命を尊ぶために欠かせない静謐な空間の創出により公園利用を下文えする一方、動画コンテンツを活用した秋春二回の復興記念館での特別展の開催などにより、これまで以上の広い層に対し、震災、戦災の歴史を風化させない取り組みができた。また、マスコミ等からの問合せにはその意図を汲み取り丁寧に対応した。外部講演会への講師派遣にも積極的に対応し、さらに、関東大震災100年を機に将来にレガシーとして残すべき収蔵資料の活用については、独自、共同の研究を複数進めた。これらの取り組みにより、「広くかつ深く」公園の存在意義を高めることができた。</p> <p>②公平で、安全・安心な公園を目指し、園内の利用、特に9月1日に複数行われる占用慰霊集会の適切な対応を行った。一方、園路・広場・砂場等の日々の清掃や遊具の日々点検、専門点検など、良好な公園利用の確保に努め、公園利用者から好評を得た。</p> <p>③慰霊協会が独自に取り組む「関東大震災100年事業」とも連携を図り、横網町公園の魅力向上と利用促進に資する自主事業を展開した。動画の制作や体験文朗読録音などをはじめ、園外の震災・戦災の爪痕や記憶の残る土地を巡る「ガイドツアー」、家族連れをターゲットとした、東京臨海広域防災公園と共同の「ぼうさいツアー」を実施した。</p> <p>④時々の新型コロナウイルスの感染状況に応じた都の指導に従い、感染拡大防止措置を講じつつ、予定していた都民参加型イベントはおおむね実施した。（予定11→実施10）</p> <p>⑤令和5年度の完成を目指し、復興記念館展示リニューアルの準備を進めた。改装にかかわる法的チェック、新展示品の検討・制作等に着手した。</p> <p>⑥施設の老朽化、収蔵資料の開示など、課題は東京都と情報共有し、緊密な連携のもと適切に対応した。</p> <p>⑦慰霊堂空調設備工事、防災用発電設備工事、収蔵物修復作業委託など東京都発注工事等の施行、利用調整に全面協力した。</p>																					
5 管理状況（維持管理）																					
<p>1. 「植物管理」 枯枝・枯損木の処理を発見次第行い、安全確保を最優先に対応するとともに植物の特性に応じた剪定・刈込み等により年間を通じて良好な緑景観の創出に努めた。公園外周部の樹木の剪定・伐採を計画的に行い、市街地の公園にふさわしい樹林地の健全育成を図った。</p> <p>2. 「施設管理」 遊具、水飲み、便所等毎日の目視点検を実施し、不良箇所の早期発見と対応を行った。子供の利用が多い遊具広場付近では喫煙しないように呼び掛ける看板を新設した。（これまでは仮設）</p> <p>3. 「設備保守」 9月に引き継いだ慰霊堂の空調設備の適切な運転を行った。また、復興記念館消火栓をはじめとする防災施設やエレベーター、高圧受電設備に関して、専門業者による保守点検、定期的動作確認を実施した。</p> <p>4. 「補修修繕」公園利用者の視点に立ち、排水施設の改修などを行うとともに、計画的なベンチの座板取り換えを継続した。慰霊堂天井崩落など施設の構造的問題による破損の際は即座に専門業者に仮修理させると同時に都へ報告した。木柵・看板等不具合箇所については直営職員で適切に対応した。</p> <p>5. 「環境保全」園内廃棄物のきめ細かい収集と適切な処理を通年行い慰霊の場にふさわしい環境を維持するとともに、夜間巡回や日頃の声かけ等により新たなホームレスの流入を防いだ。ハトの餌やりについては、発見次第注意し理解を得ている。</p> <p>6. 分煙の徹底のため、老朽化した吸い殻入れを改修するとともに周辺を舗装した。（現在2か所を1か所にするための布石）</p>																					
6 利用者アンケート結果																					
実施方法:職員による直接配布、回収																					
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応																
横網町公園	4.7	4.7	4.2	4.5	4.6																
7 入園者数の状況（単位：人）																					
施設名	当該年度	分析																			
横網町公園	237,166	<p>新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、可能な限り公園利用に制限を設けない方針で管理した。公園来園者は対前年度では減少したものの、コロナ前の平成31年度は越えた。利用者の視線で粗放感のない管理を心掛けた結果であると考えられる。</p> <p>一方、復興記念館来館者は、コロナ後最高となった。団体利用の回復が寄与していると考えられる。</p> <p>公園利用者 復興記念館来館者 一時占用件数</p> <table border="1"> <tr> <td>平成31年度</td> <td>230,400</td> <td>31,088</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>246,684</td> <td>13,919</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>270,392</td> <td>19,488</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>237,166</td> <td>23,638</td> <td>43</td> </tr> </table>				平成31年度	230,400	31,088	55	令和2年度	246,684	13,919	28	令和3年度	270,392	19,488	32	令和4年度	237,166	23,638	43
平成31年度	230,400	31,088	55																		
令和2年度	246,684	13,919	28																		
令和3年度	270,392	19,488	32																		
令和4年度	237,166	23,638	43																		
合計	237,166																				

## ○施設別事業報告書

施設名 横網町公園

指定管理者名 公益財団法人東京都慰霊協会

**1 公園の意義と存在を高める**

「震災及び戦災のメモリアルパークとして被災者の霊を供養し、また東京を復興させた大事業を記念することを目的に造成された公園である。(横網町公園マネジメントプラン)」

2023年、関東大震災100年の節目の年を前に、この主旨を最大限発揮するよう管理運営を行った。

**(1) 命を尊ぶ静謐な空間づくり****ア、慰霊堂内での季節の草花の展示**

慰霊堂内においては、バックヤードで育成した季節の草花を毎月展示し、好評を得た。年間18種

**イ、きめ細かな植栽管理と、伝統手法の継承**

特に日本庭園区域では、良好な植物育成、景観形成を意識して管理した。冬の風物詩、マツの雪吊りでは、南部式、北部式の両方を設置し、季節感の醸成とともに、伝統技術の継承を図った。

一般園地でも、適時の樹木手入れ(剪定)により花芽を残すことを意識した。

**(2) 震災・戦災の歴史を風化させない**

復興記念館での特別展は、関東大震災100年事業(協会独自)の成果を加え、訴求力を増した。

**・秋季特別展(R4年8月～R5年3月)**

地震と鯨をテーマに、「関東大震災と地震鯨」を開催した。江戸時代からの「鯨原因説」、安政地震以降の風刺要素の付加などを紹介するとともに、後半では関東大震災一年後に書かれた子ども向け戯曲「閻魔裁判鯨髯拔」を再現した(自主事業)動画を紹介した。特別展に先立ち上映会(自主事業、8月20日)も行い多くの参加があった。広い年齢層の興味を掘り起こし、風化防止に貢献した。

**・春季特別展(R5年3月～4月(予定))**

関東大震災時に、住民の自力消火により焼失を免れた町をテーマに「焼け残った神田和泉町・佐久間町の真実」を開催している。住民一致協力による消火活動は、やがて「美談」ともなるが、その詳細を検証するとともに、のちの日中戦争時に、この「美談」を題材に制作された紙芝居「関東大震災」の意味を考えた。紙芝居をナレーション付きの動画としたもの(自主事業)の上映も行った。

**(3) マスコミ、研究者等への適切かつ丁寧な対応による発信**

貴重な歴史資料を所蔵する博物館機能の一環として従来より、研究や取材に関しては丁寧な対応を心掛けている。一方、関東大震災100年を前に、海外からを含め、詳細事項についての問い合わせが増えている(花屋敷の象(配信会社)、小学生の記念文集(国内メディア)、死亡者調査票(外国メディア)など)。これらに答えるためには、あらためて史料の確認や、再調査が必要な場合もある。また、回答の仕方についても慎重に行う必要があり、相当な労力を要するが、先方の意図を十分理解して対応した。この結果、好意的に取り扱われることが多く、効果的な発信につながられた。

また、研究者との共同調査により、貴重な歴史資料の活用策に着手した(死亡者調査票5万枚のテキスト化、令和5年度に公開予定)。これらの取り組みにより、専門分野における発信も続けていく。

**2 公正で、安全・安心な公園づくり**

9月1日、園内で行われた慰霊集会においては、一つの団体が集会後に、句碑を見学するという例年のない行為をすることと、事前の当該団体との打ち合わせを含めて、東京都、警察等と、協議・協力して、大きな混乱なく集会を終了させた。

一方、基本的管理においては、日々の清掃、毎週の園路清掃、砂場清掃等を継続して実施し、利用者の好評を得ている。その結果、近隣保育園に連日利用されており、その中の一園の園児からはお礼の言葉をいただいた。(両国子育て広場、11月25日)

**3 魅力向上と利用促進のための自主事業**

これまでの、慰霊、法要などの公園利用者への当協会の親身な接客対応でつちかった「信頼」を背景に特別寄進を呼びかけ、関東大震災100年事業財源の確保に邁進した。

これらの一部を財源に、前述の特別展で上映したオリジナルの動画「閻魔裁判鯨髯拔」(31分)、紙芝居「関東大震災」(10分)の制作をいずれも自主事業として制作した。また、地元墨田区教育委員会の協力を得て、関東大震災直後に当時の小学生が書いた体験文を現在の同年代の生徒に読んでもらい、資料画像とともに、上映するプロジェクトにも取り組んだ。

いずれも、次年度予定の復興記念館展示リニューアルの新展示で活用予定であり、100年以降に続く横網町公園のレガシーとして大いに活用できる。

多くの方々からの善意により公費負担を最小限にした横網町公園の魅力向上が実を結びつつある。

1(1) ア季節の草花の展示



4月サクラソウ



6月アジサイ



11月コギク

1(1) イ伝統手法の継承、きめ細かな植栽管理



北部式建て込み完了



南部式建て込み(作業中)



見事に咲きそろったオトメツバキ

1(2) 秋季特別展  
「関東大震災と地震鯨」



1(2) 春季特別展  
「神田和泉町・佐久間町の真実」



2 公平で安心安全な公園



保育園児からお礼のメダル

2 公平で安心安全な公園

3 魅力向上と利用促進(自主事業)

漫画家「しりあがり寿」氏によるキャラクターデザイン



紙芝居「関東大震災」



9月1日、同時に行われた2つの集会



マスコミに取り上げられた動画上映会(一面記事)



自主事業等の財源確保 関東大震災100年特別寄進